

初学者向け臨床講読会のご案内

精神分析研究会・神戸 運営委員 辻河昌登
(帝塚山学院大学大学院・KIPP 天満橋心理オフィス)

精神分析研究会・神戸では、今年度から初学者向けの臨床講読会を開催しています。

精神分析的な心理療法の訓練には、知的学習、スーパーヴィジョン、個人分析（教育分析）といった三つの柱があります。その知的学習の機会の一つとして、この臨床講読会をご活用いただければと思います。文献は精神分析的な心理療法に関する実践的で、初学者にも理解しやすい本を取り上げます。職場では精神分析的ないしは力動的な観点でディスカッションできる仲間がいない方もおられると思いますので、この会では同じ精神分析的な心理療法を学ぶ仲間として、メンバー間で支え合いながら、相互的ならびに互恵的な学びができればと期待しています。下記の事項をご参照の上、奮ってお申し込みください。

対象：今年度の「精神分析研究会・神戸」のセミナー参加者ならびに参加者が推薦する医師、臨床心理士、公認心理師、臨床心理系大学院生など 20 名程度（セミナー参加者を優先します。自称初学者も歓迎しますが、応募者多数の場合は臨床経験の浅い初学者を優先します。）

日時：月曜（9/27、10/4、11、18、25、11/1、8、15、22）
20:30～21:30（オンライン開催）

文献：ナンシー・マックウィリアムズ（著） 成田善弘（監訳）
『ケースの見方・考え方 ― 精神分析的ケース・フォーミュレーション』 創元社

今回は、心理療法の初期においてアセスメントを行い、それに基づいてどのようにケースを見立てるかといったケース・フォーミュレーションの仕方を学びます。このテキストは、ニューヨークのホワイト精神分析研究所で開講されている臨床心理専攻の博士課程院生向けの講義でも用いられており、アメリカでは心理臨床の専門家をめざす初学者の必読書として有名なものです。

参加費：秋季（9回分）セミナー参加者 4,500 円、セミナー参加者以外 9000 円

申込要領：「精神分析研究会・神戸」のホームページ <https://bunseki-kobe.com> にある申し込みフォームからお申し込みください。

申込締め切り：9月19日（日）